

Press Release

<プレスリリース>

2022年11月7日

報道関係者各位

ジャミール商事株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:榎並滋喜、以下「当社」)は、2022年11月5日付けで、学校法人久留米大学(本学:福岡県久留米市旭町67、学長:内村直尚、以下「久留米大学」)と、産学連携事業による価値創造に向けた「包括的連携に関する協定書」(以下、「本協定」)を締結いたしました。

本協定の締結では、久留米大学の研究活動の充実と更なる発展、久留米大学発シーズ技術の事業化及び海外展開、人材の育成、活力ある社会の形成及び海外の機関等と久留米大学間での国際的学術連携や共同事業への拡大等に向けた取り組み推進が目的となります。

当社は、本協定のもと、久留米大学が実施する最先端技術に関する開発及び研究活動や大学発シーズ技術を、当社の有する中東・北アフリカ地域及びその他の海外地域に展開する支援を進めて参ります。海外の機関等と学術分野での共同研究並びに協業を通じて、大学内の研究者や職員、学生様に海外に広げた視野を持っていただく機会を創出すると共に、社会課題の解決に資する産学連携事業を創出し、より良い未来を創造していくことを目指します。

当社の代表取締役社長である榎並は、次のように述べております。

「久留米大学様は、産学連携のもと非常に優れたヘルスケア関連技術やサービスを開発され、また医学教育センターにて医学教育の質向上に寄与する研究を実施されており、優れた医師を輩出することにご尽力されておられます。弊社のヘルスケア事業部は、“必要な医療を、必要な人々へ”をミッションに掲げ、まさに必要な医療を届ける根幹となる優れた医師の輩出にも注力しております。本協定を通じ、医学教育は勿論、その他久留米大学様がお持ちのヘルスケア技術・サービスの更なる発展に貢献することで、世界の医療インフラ向上に寄与し、更には日本技術の世界での競争力向上に貢献できることを期待しております。」

久留米大学学長である内村様は、次のように述べております。

「これまで、本学の研究内容から、製薬企業や医療機器メーカーとの産学連携は案件毎に数多く共同研究等を行っており、今回、商社の企業との連携は初めてです。本学は、企業と共同研究して終わりではなく、大学発の研究成果や教育、医療技術等に対する海外展開といった出口戦略にも力を入れていくべきだと感じています。その上で、商社企業との連携は必要と感じ、今回、ヘルスケア事業の海外展開にもご尽力されているジャミール商事様と目的も一致したことから連携に至りました。ジャミール商事様との連携により、本学の研究者・職員みなさんにとっても、海外へと視野を広げた交流や人材育成、そして大学としての社会貢献もより発展的に推進していけることを期待しております。」

Press Release

<ジャミール商事株式会社について>

ジャミール商事株式会社は、1996年にアブドゥル・ラティフ・ジャミール社の日本法人として設立されました。自動車や環境エネルギー、ヘルスケアを中心に事業を展開しております。日本企業やアジア企業との連携により、中東、北アフリカ、トルコ及びアジア地域に幅広く日本の優れた製品や技術を輸出する総合商社を目指しています。

詳細については、<https://alj-japan.co.jp/> (日本語)をご参照ください。

<久留米大学について>

久留米大学は、6学部13学科と4つの大学院研究科を持つ総合大学です。人間、社会、文化の実態と本質を探求し、広い視野と高い専門性を備えたところ豊かな人間を育成し、地域社会と国際社会に貢献することを、教育理念として掲げております。

詳細については、<https://www.kurume-u.ac.jp/> (日本語)をご参照ください。

<ご参考>

久留米大学様のHPにて本内容をご紹介頂きました。

<https://www.kurume-u.ac.jp/site/backno/20221107-2.html>

<本件に関するお問い合わせ先>

ジャミール商事株式会社

担当: 瀧上

E-mail: info@alj-japan.com